

# 作文コンクール 優秀賞

(奈良県町村議会議長会長賞)

## 元島民の人達の悔しさ

斑鳩町立斑鳩南中学校 阪口 彩香

私は正直にいうと社会が苦手です。だから北方領土の問題と聞いても北海道にある島での問題というぐらいの認識しかありません。だから、この作文を書くにあたって一番はじめに北方領土と北方領土問題について調べてみました。

まず北方領土とは北海道の歯舞諸島、色丹島、国後島、択捉島の島々のことだと分かりました。最北端の択捉島も入っているので場所は私でもイメージはできました。その北方領土での問題を調べてみたけれど、説明には学校での授業でも習っていない色々な条約なども出てきてあまりはつきりとは分からなかったです。でも、サイトをみているとほとんどには「第二次世界大戦直後にソ連軍によって北方領土が占領され、島に住んでいた日本人は本土に引き揚げさせられた。」と、どのサイトでも同じような内容が書いていました。ソ連崩壊後ロシアに引き継がれた今も、不法な占領は続いているそうです。

サイトの内容の中にあった「島に住んでいた日本人は本土に引き揚げさせられた」という部分がいましちピンとこなくてお母さんに意味を聞いてみるとソ連軍が攻めてきて島に住んでいた日本人がやむをえず本土に逃げたそうです。それで意味は分かって作文に戻ろうとするとお母さんが、

「その人達はお墓参りにすらもいけへんねんで。」

と、教えてくれたことに付けたして言いました。その場で私が、

「そうなんや。」

と、言ってお母さんとの会話は終わってしまったけれど私はその人達のことを調べてみることも北方領土に関心を持てるかもしれないと思い、その人達についても調べてみることにしました。

色々な人の体験を語った言葉が残っているサイトを見ていると私は、山本昭平さんの言葉が一番、目にとどまりました。ソ連軍に何をされるか分からないから恐怖心があり、引き揚げ命令が来たときは命が助かってほっとしたとありました。私は北方領土の島にはあまり人が住んでなくて政府での問題であり、人々が直接関わっていないイメージだったのでこんな恐怖心があったことや命がかかっていたと言うコメントを見て北方領土問題はこんなにも恐ろしいものだったのだと思い知らされました。山本さんのコメントをもっと読んでいくと、島を出て行くときに島に残してきた飼い犬が海に入って船を追ってきたそうです。そうすると他の犬も真似をしてそれぞれ自分の飼い主のところへ追っていったのです。船を運転していた機関士がこらえきれずにスピードを出すと、それまではみんな悲しさをこらえていたそうですが、一人がこらえきれなくなって泣いてしまうと船に乗っていた人達がそれをきっかけに泣き出して山本さんも泣いてしまったそうです。

私はこんなコメントを読んでみて北方領土問題とはこんなにも意味が深いものなのだと感じました。島から揚げられた人達も、北方領土問題に関係が深い人も悔しいと思っているはずですが、でも、だからといって、ロシアともめるのは違うと思います。この地球で一緒に共存していく限り、仲を悪くして北方領土問題以上のことがおきてしまっは意味がないのでどちらにも納得がいく結果で解決ができたなら私は北方領土、北方領土問題、北方領土から本土に揚げられた人達のコメントを色々なサイトを調べているうちに思いました。